



2020年12月25日

各位

会社名 カゴメ 株式会社
 代表者名 代表取締役社長 山口 聡
 コード番号 2811 東証・名証第1部
 問合せ先 執行役員財務経理部長 佐伯 健
 TEL. 03 - 5623 - 8503

業績予想の修正に関するお知らせ

2020年7月29日に公表した業績予想を修正いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2020年12月期通期連結業績予想数値の修正(2020年1月1日～2020年12月31日)

	売上収益	事業利益 (注)	営業利益	親会社の所有者 に帰属する 当期利益	基本的1株当 たり当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	181,400	12,400	12,900	8,700	97.92
今回修正予想(B)	182,200	13,100	10,200	7,000	78.95
増減額(B-A)	800	700	△2,700	△1,700	△18.97
増減率(%)	0.4	5.6	△20.9	△19.5	△19.4
(ご参考) 前期実績 (2019年12月期)	180,849	12,304	14,079	10,198	114.89

注：事業利益は、売上収益から売上原価並びに販売費及び一般管理費を控除し、持分法による投資損益を加えた、当社の経常的な事業の業績を測る利益指標です。

・修正の理由

売上収益は、日本における野菜摂取量を「あと60g増やす」ことを目指した『野菜をとろうキャンペーン』の展開に加えて、コロナ禍における肉食需要が引き続き堅調であったこと等により、前回発表予想時(2020年7月29日時点)より、8億円の増加を見込んでおります。

事業利益は、売上収益の伸長に伴う増益に加え、コロナ禍での活動自粛による販管費の減少があった一方、テレビCMを始めとする積極的な広告宣伝費の投下、米国持分法投資の減損損失等により、7億円の増加にとどまることを見込んでおります。

営業利益、当期利益は、ポルトガル子会社である Holding da Industria Transformadora do Tomate, SGPS S.A (以下、HIT社) が保有する固定資産の減損損失を約30億円計上する見込みとなったことから、それぞれ27億円、17億円減少することを見込んでおります。

HIT社では、主力商品であるトマトペースト市況の世界的な下落を受け、近年、その業績が低迷しておりました。かかる状況を受け、安定した利益が獲得できる事業構造へ転換すべく、抜本的な収益構造改革を進めております。本減損損失は、こうした取り組みにおいて、事業別、顧客別の収益管理とその選別を進める上で、将来において安定したキャッシュ・フローが見込めないと判断した製造設備等を対象にしたものです。

HIT社は、本収益構造改革により、確実な利益体質への転換を図ってまいります。

以上